



# 社団法人 日本鋼構造協会 鋼構造シンポジウム2011

—最先端の技術で鋼構造の明日を—

期 日：平成23年11月17日（木）～18日（金）

場 所：東京有明・東京ファッションタウンビル 東館 9F

参加費：無料

参加方法：当日会場受付にお越し下さい。（名刺を2枚ご用意下さい）

資 料：催物により配付資料をホームページにアップロードしておりますので、参加者各位で事前にダウンロードしてご持参下さい。（原則として当日の配付は致しません）

※年次論文集CDは、当日販売致します。

協賛：危険物保安技術協会 社団法人建設コンサルタンツ協会 独立行政法人建築研究所 建築用アンカーボルトメーカー協議会  
(予定) 一般社団法人鋼管杭・鋼矢板技術協会 財団法人高速道路調査会 首都高速道路株式会社 社団法人新都市ハウジング協会  
一般社団法人スタッド協会 全国建築用ターンバックル協議会 社団法人全国鐵構工業協会 社団法人鉄骨建設業協会  
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 公益財団法人鉄道総合技術研究所 社団法人電気学会 公益社団法人土木学会  
日本放送協会、社団法人日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 社団法人日本橋梁建設協会 社団法人日本建設業連合会  
社団法人日本建築学会 社団法人日本建築構造技術者協会 一般財団法人日本建築センター 財団法人日本建築防災協会  
社団法人日本港湾協会 日本試験機工業会 公益社団法人日本船舶海洋工学会 社団法人日本造船工業会  
社団法人日本鉄鋼協会 一般社団法人日本鉄鋼連盟 社団法人日本鉄塔協会 社団法人日本道路協会  
社団法人日本非破壊検査協会 社団法人日本防錆技術協会 財団法人日本溶接技術センター 社団法人日本溶接協会  
阪神高速道路株式会社 一般社団法人表面技術協会 本州四国連絡高速道路株式会社 社団法人溶接学会

当シンポジウムは、土木学会、建築技術教育普及センターのCPDプログラムとして認定されています。

当協会では、各事業委員会等の活動成果を総合的、機能的に連係させ、会員ならびに鋼構造関係者相互の交流の場として、平成16年度より「鋼構造シンポジウム」を開催しております。

本年度もアカデミーセッション(鋼構造年次論文報告集講演会)、エンジニアリングセッション、特別講演等、各種研究紹介を実施します。

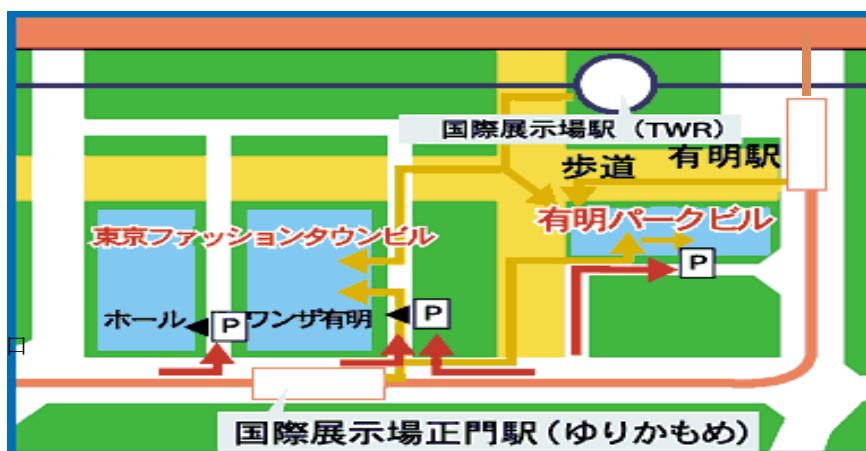
各セッションの主な内容は以下のとおりです。また、初日の17:30より参加者の親睦を図るための懇親会も企画しておりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 会場案内図

東京ファッションタウン (TFT)

(東京都江東区有明3丁目1番)

- ・ 新交通「ゆりかもめ」で新橋から22分。国際展示場正門駅と直結。
- ・ りんかい線「国際展示場駅」下車、徒歩5分。
- ・ 9階へはAエレベーターをご利用下さい。



→ 徒歩 → 車

<お問い合わせ>

社団法人 日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2011」係

〒160-0004 新宿区四谷3-2-1 四谷三菱ビル9階

TEL. 03-5919-1535 Fax. 03-5919-1536

URL <http://www.jssc.or.jp>

## 主 な 内 容

各行事の主な内容は以下のとおりです。なお、講師敬称は略させていただきます。  
(開催時間、使用会議室、講師、講演順等に変更される場合があります)

---

### 牛寺 另 日 講 演 東日本大震災に関連して —新宿センタービルの耐震グレードアップと長周期地震動に対する効果— 17日(木) 16:00~17:30 904研修室

資料配付は行いませんので、是非とも直接講義をお聞き下さい。

講 師 : 大成建設 設計本部 理事 副本部長 細澤 治

---

### アカデミーセッション(第19回鋼構造年次論文報告集講演会)

17日(木) 10:00~/18日(金) 10:00~ 902・904・905・907研修室

当協会では、平成5年度から年に1回、「鋼構造年次論文報告集」を刊行し、これに併せて、掲載論文・報告の講演会を“アカデミーセッション”として開催し、鋼構造に関わる研究者・技術者および学生の発表の場、情報交換の場として、好評を博してきました。

本年度で19回目の開催となりますが、これまで同様講演会を行うと同時に、例年実施している“優秀発表”の表彰も行います。

資料: 鋼構造年次論文報告集 第19巻 (予定価格 2,500円 CD価格)

[本年度からCD-ROMのみによる販売とさせていただきます。]

---

### 「ステンレス鋼の活用策」

17日(木) 10:00~12:00 904研修室

JSSC 技術情報誌 No7 号で紹介する「(仮題) ステンレス鋼の活用法」の執筆者

向野聡彦 株式会社日建設 構造設計部長

光井純 光井純&アソシエーツ建築設計事務所 代表

(ペリ クラーク ペリ アンド アソシエーツ ジャパン代表)

より、ご執筆いただいた、

「ステンレス鋼の新しい活用法、アイデア」、

「感銘を受けた海外でのステンレス鋼の適用事例」

などを、より広く、より詳しく、お話しいただく予定としております。

---

### エンジニアリングセッション:(技術・標準委員会)

17日(木) 13:00~15:00 9-A会議室

#### 「(仮) 鋼構造物疲労設計指針の改定について」

1993年に刊行された「鋼構造物の疲労設計指針・同解説」は、昨年、約18年ぶりにその改定版が発刊されました。本セッションでは、当該指針の改定内容の説明を行なうとともに当該指針を用いて実施された設計事例についての紹介および解説をいたします。

- ・改訂内容の説明: 「総則」「疲労設計荷重」「公称応力を用いた疲労照査」「ホットスポット応力を用いた疲労照査」「疲労き裂進展解析を用いた疲労照査」「既設鋼構造物の疲労照査と点検・診断・対策」
- ・設計事例の紹介と解説: 「鋼道路橋」「天井クレーン走行桁」「大型浮体空港」

## 日本鋼構造協会業績表彰

17日(木) 表彰式：13:00～13:30 904研修室

当協会表彰選考委員会では、建築物等の優れた鋼構造物や発表された論文に対し、表彰を行っております。平成23年度業績表彰は次のとおりです。

### 日本鋼構造協会 業績賞

- 空港ターミナルに架かる大屋根のスライド工法による施工
- 名古屋市科学館理工館・天文館の設計と施工
- ホキ美術館の設計と施工

### 日本鋼構造協会 特別賞

- 鋼によるRC建物の魅力再生の展開と実施

### 日本鋼構造協会 論文賞

- 諸変数が鋼構造柱梁接合部段違いパネルの崩壊性状に及ぼす影響
- 梁端混用接合部における梁ウェブ高力ボルト接合部の力学的性状に関する研究
- 低靱性鋼熱影響部のシャルピー吸収エネルギーに及ぼす溶接条件の影響
- 極厚鋼板を対象とした多列高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動に関する実験的研究

## 日本鋼構造協会業績表彰・受賞記念講演

17日(木) 受賞記念講演：13:35～15:45 904研修室

上記受賞対象者による受賞記念講演が行われます。

### 日本鋼構造協会 論文賞

- 13:35～13:50 諸変数が鋼構造柱梁接合部段違いパネルの崩壊性状に及ぼす影響  
講演者：桑原 進（大阪大学大学院 工学研究科地球総合工学専攻 准教授）
- 13:50～14:05 梁端混用接合部における梁ウェブ高力ボルト接合部の力学的性状に関する研究  
講演者：佐藤 由悟（日鐵住金建材(株) 建築商品開発部）
- 14:05～14:20 低靱性鋼熱影響部のシャルピー吸収エネルギーに及ぼす溶接条件の影響  
講演者：崎野 良比呂（大阪大学 接合科学研究所  
信頼性設計学分野 助教）
- 14:20～14:35 極厚鋼板を対象とした多列高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動に関する実験的研究  
講演者：山口 隆司（大阪市立大学大学院 工学研究科都市系専攻 教授）

### 日本鋼構造協会 特別賞

- 14:40～14:55 鋼によるRC建物の魅力再生の展開と実施  
講演者：関 光雄（㈱竹中工務店 先進構造エンジニアリング本部 課長）

## 日本鋼構造協会 業績賞

- 15:00～15:15 空港ターミナルに架かる大屋根のスライド工法による施工  
講演者：安井 啓（鹿島建設(株) 東京建築支店第二統括事業部  
（仮称）新宿六丁目N街区計画新築工事事務所 次長）
- 15:15～15:30 名古屋市科学館理工館・天文館の設計と施工  
講演者：杉浦 盛基（(株)日建設計 構造設計部門 構造設計主管）
- 15:30～15:45 ホキ美術館の設計と施工  
講演者：向野 聡彦（(株)日建設計 構造設計部門 構造設計部長）
- 

## 「ISO/TC167の最新の動向について」(国際委員会)

17日(木) 10:00～12:00 9-A会議室

昨年から今年にかけて、ISO本部におけるTMB(Technical Management Board)では鋼構造に関する技術委員会であるTC167の活動再開を正式に決定しました。この度の活動再開の目的は鋼構造の製作と建て方について定めた「ISO 10721-2:1999 Fabrication and erection」の見直しと改定であります。本セッションではこの再開された活動の最新動向についての報告を行なうとともに、今後の日本としての対応についても提言を行なっていきます。

- ・ISO/TC167の概要とこれまでの経緯ならびに活動の再開について
  - ・第1回TC167 Meeting (@Dusseldorf / Germany 2011年6月)の報告
  - ・第1回TC167 WG (@Paris / France 2011年10月)の報告
  - ・今後の日本の対応について
- 

## 刊行物展示販売

17日(木)・18日(金) 901研修室

当協会制定の規格・標準類、テクニカルレポート、活動成果報告書、各種講習会テキスト等、鋼構造建築物ならびに鋼橋等に関する資料を販売いたします。

---

## 懇親パーティ

17日(木) 17:30～ 9-A会議室

鋼構造シンポジウム2011参加者の懇親の場をご用意いたしました。自由にご参加下さい。(無料)

---